



建築物総合環境計画概要書 新築

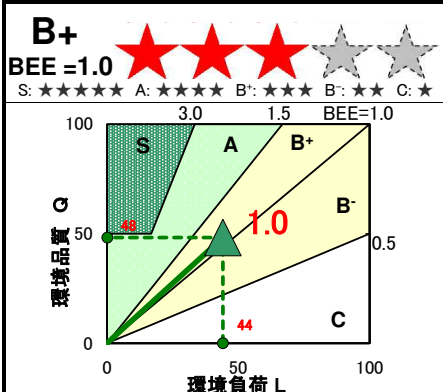
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要

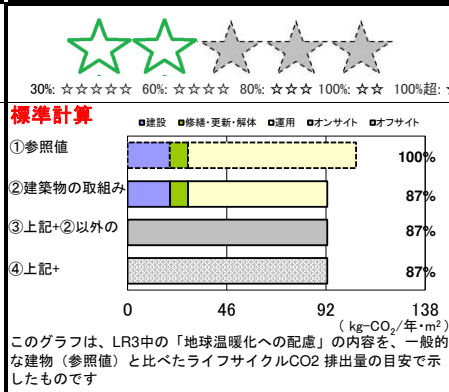
建物名称	(仮称)同心一丁目計画	
建設地	北区同心1丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
敷地面積	740.73	m ²
建築面積	278.51	m ²
延床面積	3,438.33	m ²
構造/階数	RC造	/ 地上14階
完了年(予定)	2025年1月	

1-2 外観

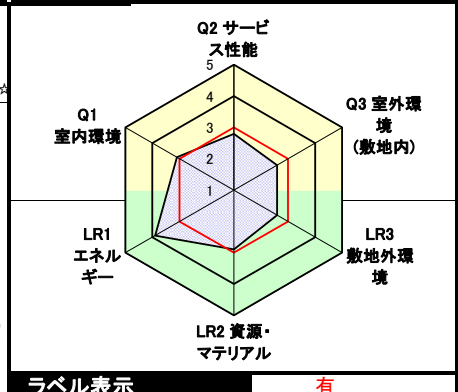
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



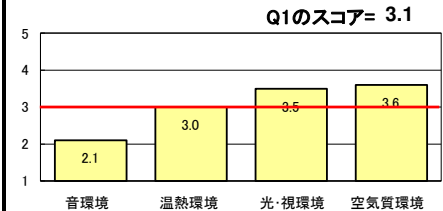
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



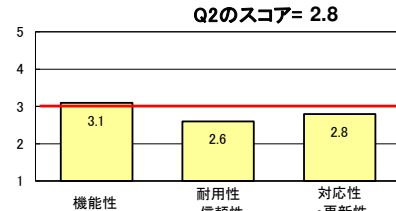
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

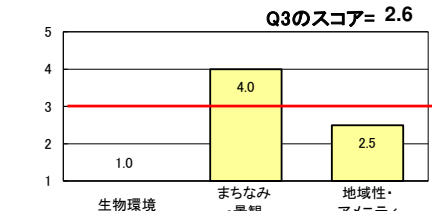
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

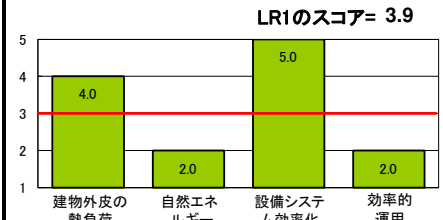


Q3 室外環境 (敷地内)

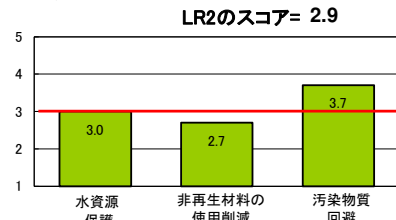


LR 環境負荷低減性

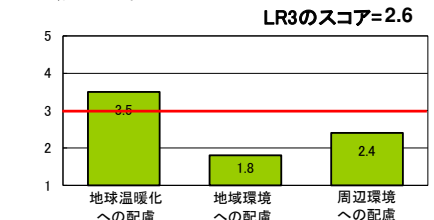
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

都心に暮らしながら、環境に配慮する人へ向けた住まいを提案。
周辺環境から抽出した色彩を基調とした外壁とし、自然の温もりや落ち着きを感じさせる外観としました。
高省エネであるZEH-Mを目指した建物とし、地球環境へ貢献しています。

その他

特になし。

Q1 室内環境

シックハウスに配慮し、内装材については全て、建築基準法上規制対象外となる建築材料 (F☆☆☆☆) を採用しました。

Q2 サービス性能

室内の快適性に配慮し、住戸の居室の天井高は概ね2.5m確保しました。

Q3 室外環境 (敷地内)

周辺敷地への環境配慮として、敷地内の緑化に取り組み、北側道路際に植栽を施しました。季節の趣きを感じる樹種を選定し、入居者や地域の方々に潤いのある緑化空間を提供する計画としました。

LR1 エネルギー

高省エネ建物であるZEH-Mを目指し、外皮の断熱性能向上や高効率設備の導入によって、建物の省エネ性能と生活快適性の向上を両立させる計画とします。

LR2 資源・マテリアル

特になし。

LR3 敷地外環境

建蔽率を抑えた配棟計画としました。さらに既存敷地内通路を残すことで、敷地周辺地域の風の通り道を遮らないよう工夫しました。また敷地内通路沿いには植栽を施し、熱的な影響を軽減するよう計画しています。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.5
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	1.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/ 敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/ 温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	高効率設備の導入によって、建物の省エネ性能を向上させる

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況 適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級4 (相当)	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.79	0.79	-